

- 古代のやきものの技で

カメを作ろう -

「たつき」技法によってカメ甕をつくり、その表と裏に現れる「たつき」文様に着目しながら自由に甕を切り出し、亀をつくってみましょう。

1月23日(土)と30日(土)両日
参加できる方のご応募お待ちしております。

参加費：1680円 (中学生以下840円)
※定員20名
※締め切り1月13日(水)

完成した亀が、本展会場に展示されます。
展示後、3月23日以降作品の引き渡しを陶芸館にて行います。

甕カメ から 亀カメ へ

申込が必要です。



1日目

「たつき」を用いて、グループで甕を作ります。

日時：1月23日(土)
10:30-16:00

(昼休憩1時間)

場所：本館ロビー集合
(午後 陶芸館)

2日目

甕を分解して、亀の置物を各自で作ります。

日時：1月30日(土)
13:30-15:30

場所：陶芸館

- 大西学芸員と行く古代窯跡 -

1月16日(土)
長久手三ヶ峯古窯+南山8・9号窯(館内)
10:30~15:00
※締め切り1月9日(土)

2月26日(金)
日進市香久山古窯+市道1号窯(館内)
10:30~15:00
※締め切り2月19日(金)

両日とも現地集合です。
参加費：100円程度
(レクリエーション保険加入のため)

窯かま から 窯へ

申込が必要です。



お申し込み方法

往復はがきかメールに、記入事項を明記の上、お申し込みください。

【記入事項】

- ・住所
- ・氏名
- ・年齢
- ・電話番号

(メールでお申し込みの方は、メールアドレス)

【はがきの方】

〒489-0965
愛知県瀬戸市南山口町234
愛知県陶磁美術館
「カメを作ろう」係/
「窯から窯へ」係

※応募者多数の場合には、抽選とします。

【メールの方】

touji@pref.aichi.lg.jp
件名に「カメを作ろう」/
「窯から窯へ」と記入してください。

※参加者が決まり次第、詳細をご連絡差し上げます。

日本陶磁の源・陶邑窯

スエムラヨウ

— 猿投窯の前に立ちはだかった巨大な壁 —
さなげよう

深く、遊び 濃く、学び 肌で、感じる。

大西学芸員と一緒に
須恵器に触れよう！



申込不要

- ① 1月17日(日) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の時代の器
- ② 1月31日(日) 聖徳太子・天武天皇の時代の器
- ③ 2月28日(日) 聖武天皇の時代の器
- ④ 3月14日(日) 古代やきもの史—土器・陶邑・猿投

本館ロビーにて、13:30-16:00
※順番に行います。手指の消毒にもご協力ください。

申込不要

スペシャル講座 「陶邑窯研究の最前線」

新進気鋭の若手研究者である尾崎氏から、百舌鳥古市古墳群の時代を中心に、現在進行系で進む陶邑窯研究の今をわかりやすくお話いただけます。

2月6日(土) 13:30-15:00
本館地下1階 講堂

愛知県埋蔵文化財調査センター

講師：尾崎綾亮氏

申込不要

スペシャル講座 「陶邑窯衰退以降の須恵器 —平安京周辺の須恵器づくり—」

今注目の若手研究者である稲本氏から、須恵器づくりの継承者たちの物語をお話いただけます。

2月20日(土) 13:30-15:00
本館地下1階 講堂

公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター

講師：稲本悠一氏

申込不要

大西学芸員による連続講座 「古代史×陶邑窯」

- ① 「古墳時代の産業革命—陶邑窯誕生！」 1月10日(日)
- ② 「海を渡った最新技術、大和政権の傘下に至る」 1月24日(日)
- ③ 「飛鳥時代の食器革命」 2月21日(日)
- ④ 「奈良時代の造形美—陶邑窯最後の隆盛」 3月7日(日)
- ⑤ 「古代やきもの史の両雄—陶邑窯と猿投窯」 3月21日(日)

各回共通時間：13:30—(1時間半)
ロビー集合。企画展を観覧するので、券をお求めください。

申込不要

学芸員井上隼多による講座 「最新技術で陶邑窯・猿投窯 の須恵器に挑む！！ —3D技術とAIを駆使した少し未来の考古学—」

2月14日(日) 13:30—(1時間半程度)
本館1階 展示説明室